



ぜんれいニュース

コミュニケーションの輪広げて

令和8年
10/8

No.234

■発行：一般社団法人全国霊柩自動車協会
東京都新宿区四谷3-2-5
全日本トラック総合会館2階
TEL.03-3357-7281
FAX.03-3357-7374

■発行責任者：坂田 則義

URL:http://www.09net.jp



令和8年度第2回理事会(臨時)

新会長に 松井 信五氏就任



令和8年度第2回理事会(臨時)が、7月17日を決議日とした書面により開催。第1号議案として「会長の選定について」が提案され、代表理事で会長代行順位第一位の松井信五副会長(京都府霊柩自動車協会会長)が、理事・監事全員より同意を得て第10代目の会長に選定された。

なお、会長の選定については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律・第96条及び一般社団法人全国霊柩自動車協定会章・第38条第2項の規定に基づき理事会で書面決議されたもの。

令和8年度第2回運営委員会

令和8年度第2回運営委員会が7月2日、東京・四谷の「全日本トラック総合会館」で開催された。

6月17日の第49回全国事業者大会において、岡伸二郎会長が全霊協の会長を退かれる旨の表明があったため、緊急に開催され、坂田則義専務理事が議長を進行した。

議事(1)「会長後任人事について」では、岡会長の退任表明を受け、新しい会長の人選が協議され、事務局より、定款に基づく会長代行順位第一位の松井信五副会長を新会長の候補者として提案があった。運営委員会として会長候補者推薦の決議を取って、臨時理事会に諮りたい旨の説明があり、満場一致で承認された。

議事(2)「臨時理事会の開催について」では、臨時理事会の開催方法は、臨時理事会の開催について事務局より、東京での集合開催は大変なので、書面開催にしてはどうかとの提案があり、7月17日を決議日とした臨時書面理事会を開催することで承認された。

【就任挨拶】

会長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであると同時に、霊柩運送事業者で組織された業界唯一の全国団体として、社会の公器として、その社会的使命と責任を重く受け止めてまいります。

今迄取り組んできた法令遵守と安全対策、公正な競争と適正運賃の収受、大規模災害での緊急遺体搬送への対応など協会をあげて継続して行きたく思います。

また、会員事業者数が年々減少しており、その減少に歯止めがかからない状態になってきております。いかにして会員組織の強化を図っていくか、関連機関との連携を強化していくかを今後の検討課題として皆様方と力を合わせ考えてまいりたいと思います。

会員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、東京での集合開催は大変なので、書面開催にしてはどうかとの提案があり、7月17日を決議日とした臨時書面理事会を開催することで承認された。

全7委員会の集中審議を開催 令和8年度も新たな課題に取り組む姿勢を強化

令和8年度の全委員会を開催

令和8年度も7月より各委員会での集中審議が開催された。各委員会様々な意見が出され議論されたなか、各諸問題に立ち向かい、全委員会共に一致団結して課題に取り組むことが決議された。

各委員会と連携して 諸問題に立ち向かう

運営委員会



下村康範委員長

令和8年度第3回運営委員会が9月7日、東京・四谷の「全日本トラック総合会館」で開催された。

議事に先立ち、松井信五会長は「全霊協会長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いである。適正原価の検討など難しい問題もあるが、皆様のご意見も伺いながら対応していきたいのでよろしくお願ひしたい」と挨拶した。

議事(1)「正副委員長の互選について」は、委員長には新任として下村康範委員長(愛知)が就任、副委員長には村木篤委員(神奈川)が再任された。下村委員長は「委員会の円滑な運営に向けて、皆様

のご理解とご協力のもと、委員長の職を務めてまいりたいのでよろしくお願ひしたい」と挨拶した。

と、村木副委員長は「微力ではあるが、皆様のご協力のもと引き続き副委員長を務めさせていただきますので宜しくお願ひしたい」と挨拶を述べ、議事に入った。

議事(2)「各委員会の開催報告について」は、事務局より、今年7月に開催された経営改善委員会、適正化対

議事(3)「令和7年度の事業の実施状況について」は、事務局より昨年開催された運営委員会の活動状況について報告が行われた。

議事(4)「令和8年度の事業活動について」は、事務局より、令和8年度の事業計画に沿

策委員会、車両対策委員会、広報委員会、青年委員会、災害時対策・青年合同委員会の6つの委員会について開催状況の報告が行われた。(詳細は2/3ページ各委員会欄参照)また、ぜんれいニュースについて、若干の予算削減効果があり、文字サイズも大きくなることからA3サイズへの変更及び様々な方に協会活動への関心を持ってもらい会員数増加に繋げるため、パスワードによる閲覧制限は設けず、誰でも閲覧可能とすることが承認された。

議事(5)「第49回全国事業者大会の収支報告について」は、事務局より、長崎県で開催した全国事業者大会の収支の詳細を報告。収支差額の約17万円を次の第50回全国事業者大会(北海道)に繰越すことが承認された。

議事(6)「定款の一部変更(案)について」は、事務局より、定款変更理由について、1点目は、手続き上の疑義や混乱を避けるため、「会長に事故があるとき又は会長が欠けたとき」の総会及び理事会の招集権者を明確にしておくこと、2点目は、正会員以外の者から選任できる理事数について、現行2名となつてはいるが、当該2名の枠は、専務理事及び今後新設する常務理事で使用する予定であることから、もう1名使用出来る枠を設けておくため3名に変更したいと考えており、来年3月に開催予定の「令和8年度第3回理事会(予算)総

今号の紙面

- 1面 運営委員会・委員会集中審議
- 2面 委員会集中審議
- 3面 委員会集中審議・『令和8年熊本地震』対応報告
- 4面 『令和8年熊本地震』対応報告
- 5面 各地で総会開催
- 6面 各種お知らせ

氏、熊本県協会の災害対策チームである宮崎氏・落合氏・跡部博基氏（熊本県熊本市）の間で『情報収集と共有化』、『対応策の検討』を目的とした情報ネットワークを構築した。その後、4ページに続く

3ページから続き

瓜生田会長より連絡があり①『現時点までの個人的に把握している被害状況』報告を相互に行い②先述した『情報ネットワーク』の本部長就任を瓜生田会長へ依頼した。

また、九州内各県会長より連絡があり、支援・応援体制への協力をいただいた上で、九霊協事務局として被災地への『緊急出動の待機』の準備体制に入る旨をお伝えした。

準備体制に入り熊本県側（跡部氏・落口氏）より被害状況の報告と今後熊本県内の地域を絞っての調査を行うことが伝えられ、九霊協より①被害状況の速やかな伝達②避難所開設

情報③遺体安置所の開設状況④物品（特に棺とドライアイス）の調達状況⑤その他について依頼し、福岡県側野上氏・佐藤氏）には前回（平成28年）熊本地震の対応を参考にしながら、今後とるべき行動の確認と不足物資発生時の供給方法についてを協議し、野上氏とは熊本県を中心とした交通情報、全国対応の役割分担について意見交換をした。

夜になり報道機関から、詳細な被害情報が発信され（宇城市の火災、イオンモール熊本の爆発事故など）、野上氏と熊本県協会より支援要請あった場合の出動コースやベース基地設定の検討を行いながら明け方まで緊張状態が続いた。

7月29日朝、九霊協の動きと情報の共有化を図るために『経過報告書』を①九州内各県会長及び事務局②全霊協事務局③九霊協青年部会歴代部会長④その他に発信（8月7日分まで）をした。

熊本県側より各事業所の被害状況、遺体安置所の開設、火葬場の確認できる稼働状況の情報が入り、また熊本県協会事務局の宮崎氏より①現時点においての熊本県庁より出動の要請はない旨②熊本市火葬場の稼働状況について報告があり、県協会事務局として被災現地に赴き慰問及び実態調査（先遣）を行う旨が伝えられ、九霊協として①霊柩車の被害実態②物品の在庫及び供給体制の確認を依頼した。

全霊協事務局とも電話会談（この後頻繁に）を行い現状について報告し、全霊協側より『出動要請』があった場合のシミュレーションの検討を開始するよう打診を受けた。

九霊協独自の動きとして霊柩メーカーに①修理依頼の有無の確認②修理依頼があった場合の協力③購入が発生した場合は代車の準備（全霊協事務局からアドバイス）、賛助会員サクセスプランニングをはじめとした物品供給の会社へ体制の準備をお願いした。特に福岡県内の棺メーカーには佐藤氏を通じて『在庫の状況』を確認し供給ルートを確認した。

また、鹿児島県内の被害情報もあり、かなり広域に被災があることを全霊協事務局及び野上氏に伝えた。

夜になって、宮崎氏より被害が大きかった八代地域の慰問報告を受け、協会の被害ガソリンスタンドの状況、交通情報など現地での深刻さを伝えられ、その上で今後の対応について協議を行った。

さらに、福岡県協会の金澤義和会長及び野上氏と協議し、福岡県協会の数社に『出動』の際



JR三角線に放置された脱線電車



霊柩車の後部に機材が

また、鹿児島県内の被害情報もあり、かなり広域に被災があることを全霊協事務局及び野上氏に伝えた。

夜になって、宮崎氏より被害が大きかった八代地域の慰問報告を受け、協会の被害ガソリンスタンドの状況、交通情報など現地での深刻さを伝えられ、その上で今後の対応について協議を行った。

さらに、福岡県協会の金澤義和会長及び野上氏と協議し、福岡県協会の数社に『出動』の際



救援物資を整えて

た上で余震が続く中、瓜生田会長・熊本県協会事務局・九州霊協事務局の3者で協議したところ、熊本県協会側から『近隣県協会からの搬送支援は必要ありません。県内の会員で賄えそう』との発言があり、8月7日

今回の熊本地震への対応について、過不足があったことは承知しておりますが、今後も全霊協及び協会員と対策を検討し合っていくことが不可欠であると認識いたしました。

これまでの対応を検証しながら、全霊協地区協会、都道府県協会が相互に情報交換を行いながら、いろいろなオプションを準備していくことがいかに必要であることをお伝えしご報告申し上げます。（九州協会専務理事 松尾敬一氏）



シャッターが下りません

愛知県霊柩自動車協会青年部会（藤江信彰部会長）は、9月3日、霊柩自動車見学会を名古屋特殊自動車本社、意見交換会を愛知運輸支局において開催、出席者は愛知青年部が6名、中部運輸局・愛知運輸支局が11名。

視察会は、名古屋特殊自動車（株）の下村社長挨拶から始まり、会社概要を安井業務部長が説明、その後車両見学を実施。愛知運輸支局へ移動し、霊柩車の歴史（深水事務局）、全霊協の説明（安井理事、葬儀の歴史から現在（藤江部会長）、事業者の現状や懸念点

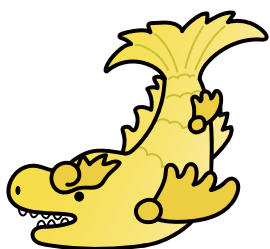
愛知県霊柩自動車協会青年部

霊柩自動車見学会と意見交換会を開催



（西井氏）をお話し、葬儀・霊柩運送事業の理解を運輸局の方々に深めて頂いた。小川愛知運輸支局長からは「今後も定期的な開催をし、お互いに有意義な時間になればと考えます」とのお言葉もいただいた。

（愛知県協会事務局 深水貴之氏）





新潟大会を開催

北陸信越霊柩自動車協会(塚田篤雄会長・長野県)、東北霊柩自動車協会(佐藤靖彦会長・山形県)の新潟大会が、7月21日、新潟県西蒲原郡の「四季の宿・みのや」において開催され、新潟県、長野県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の会員事業者、総勢57名が参加した。

ご来賓として、北陸信越運輸局より開田慎自動車交通部長・同水上克信貨物課長、新潟運輸支局より影山隼人首席運輸企画専門官、新潟県トラック協会より土田泰之専務理事、全国霊柩自動車協会より勝基宏部長をお招きした。

大会は、山内誠一新潟県霊柩自動車協会長が開会の挨拶、続いて塚田北陸信越霊柩自動車協会長、佐藤東北霊柩自動車協会長、全霊柩協会長代理の勝部長からそれぞれ挨拶があった。その後、議長団に山内新潟県協会長、塚田長野県協会長、佐藤山形県協会長を選出し、開催県の山内新潟県協会長が議長となり議事を進めた。

議長は、第一号議事を勝部長が全霊協の令和8年度事業計画等について説明、第二号議事・各県状況報告(書面)、第三号議事・次年度大会を山形県で開催することを決定し、

引き続き懇親会が開催され、賛助会員も参加して、新潟県の銘酒・お米・お菓子など、特産品を賞品にした「お楽しみ抽選会」を楽しんでいた。最後に次年度開催県の佐藤山形県協会長の山形県協会長の中締めにより閉会となった。(新潟県協会事務局 高橋進氏)

総会は、岡会長が欠席のため原山陽一副会长(東京福祉社会会長)が議長となり、第1号議案・令和7年度事業報告の件、第2号議案・令和7年度収支決算報告の件、第3号議案・令和8年度事業計画(案)の件、第4号議案・令和8年度収支予算(案)の件、第5号議案・役員改選(案)の件が審議され、いずれも事

設置後、速攻除菌&消臭

お柩に入れたまま火葬可能

永遠 TOWA

ご遺体保全剤

抑制率 99% ウイルス(ノロ・インフル)

抑制率 99% 高濃度 アンモニア臭

化粧箱入り 2袋入り

(株)サクセスプランニング 広島県福山市南手城町2-17-1 ☎ 084-971-7340

MITSUOKA

豊富な在庫と メーカー品質をお届けします

株式会社光岡自動車 特装課営業所

- ・富山本部 / 富山県富山市婦中町横野 100
- ・東京営業所 / 東京都世田谷区桜丘 4-26-8
- ・千葉営業所 / 千葉県柏市松葉町 7-16-5
- ・大阪営業所 / 兵庫県尼崎市尾浜町 1-30-6
- ・福岡営業所 / 福岡県福岡市博多区金の隈2-20-41

☎ 0120-49-3360

近畿霊柩自動車協会 新会長に川島弘丈氏就任

面総会を開催し、川島弘丈兵庫県霊柩自動車協会会長を新会長に選任した。

(近畿協会事務局 荒木光治氏)

長を退任される意向を受け、8月17日付で書

近畿霊柩自動車協会 (松井信五会長) は、7月17日付で松井会長が全国霊柩自動車協会の会長に就任され、近畿霊柩自動車協会の会

さらなる発展と、近畿霊柩自動車協会の一層の結束を願い、親睦を深める有意義な会となった。

(近畿協会事務局 荒木光治氏)

近畿霊柩自動車協会 新会長に川島弘丈氏就任

面総会を開催し、川島弘丈兵庫県霊柩自動車協会会長を新会長に選任した。

(近畿協会事務局 荒木光治氏)

東北・北陸信越霊柩自動車協会

中国霊柩自動車協会

第63回通常総会を開催



中国霊柩自動車協会(櫻井正明会長)の第63回通常総会が、7月15日、山口県周南市「ホテルサンルート徳山」において開催され

た。当日は来賓として、中国運輸局から小早川雄二自動車交通部長、音谷智子貨物課長、山口運輸支局から木本秀樹支局長、また、全国霊柩自動車協会から、松井信五会長代行、坂田則義専務理事、九州霊柩自動車協会から瓜生田孝和会長ら計6名を迎え、中国各県(広島、山口、島根、鳥取)より会員ほか総勢

50名が出席した。議事では、令和7年度事業報告並びに令和8年度事業計画(案)が満場一致で承認され、特に事業計画として、①中国ブロック研修会の開催、②各種関係帳票類の整備及び安全対策・事故防止の徹底、③災害時緊急遺体搬送体制の充実・強化(全霊協災害時対策委員会との連携)、④環境対応車の導入促進、⑤青年部会の拡充及び諸活動への支援強化、以上の5項目の事業を推進することが確認された。

また、役員任期満了に伴う選任では、櫻井会長をはじめ、全役員の留任が満場一致で承認された。終わりに、本総会決議文(案)が山口県霊柩自動車協会の森橋宏之青年部会長(有岩国葬儀社 代表取締役)により朗読され、出席会員の絶大なる拍手のもと、決議文が承認可決された。

なお、次年度(第64回通常総会)は、鳥取県米子市にて開催予定。(中国協会事務局 山野井博氏)

催することが決定し、全ての議事が承認された。続いて、大会決議を石附大昌新潟県協会理事が朗読、満場一致で承認された。その後、ご来賓の開田自動車交通部長、土田専務理事よりご祝辞を頂戴した。最後に渡邊邦雄新潟県協会副会长が開会の挨拶を述べられ、和やかなうちに大会は終了された。

催することが決定し、全ての議事が承認された。続いて、大会決議を石附大昌新潟県協会理事が朗読、満場一致で承認された。その後、ご来賓の開田自動車交通部長、土田専務理事よりご祝辞を頂戴した。最後に渡邊邦雄新潟県協会副会长が開会の挨拶を述べられ、和やかなうちに大会は終了された。

催することが決定し、全ての議事が承認された。続いて、大会決議を石附大昌新潟県協会理事が朗読、満場一致で承認された。その後、ご来賓の開田自動車交通部長、土田専務理事よりご祝辞を頂戴した。最後に渡邊邦雄新潟県協会副会长が開会の挨拶を述べられ、和やかなうちに大会は終了された。

催することが決定し、全ての議事が承認された。続いて、大会決議を石附大昌新潟県協会理事が朗読、満場一致で承認された。その後、ご来賓の開田自動車交通部長、土田専務理事よりご祝辞を頂戴した。最後に渡邊邦雄新潟県協会副会长が開会の挨拶を述べられ、和やかなうちに大会は終了された。

近畿霊柩自動車協会

松井会長の全国霊柩自動車協会会長就任を祝うとともに、岡前会長の慰労会を開催



近畿霊柩自動車協会 (川島弘丈会長) は、9月2日、京都市左京区・貴船にて、松井信五会長(京都府協会会長)の全国霊柩自動車協会会長就任を祝う祝賀会と、岡伸二郎前全国霊柩自動車協会会長の慰労会を開催した。

当日は、松井会長ご夫妻、岡前会長ご夫妻をはじめ、近畿霊柩自動車協会の役員ら13名が参加し、京都の伝統的な夏の風物詩である貴船の川床で旬の料理を味わいながら松井会長の新たな門出を皆でお祝いするとともに、これまで全国霊柩自動車協会の発展にご尽力された岡前会長への感謝の気持ちを伝え、終始笑顔の絶えない楽しいひとときとなった。

参加者一同、今後の全国霊柩自動車協会の

さらなる発展と、近畿霊柩自動車協会の一層の結束を願い、親睦を深める有意義な会となった。

(近畿協会事務局 荒木光治氏)

東京都霊柩自動車協会

定時総会を開催 原山陽一氏が新会長に

東京都霊柩自動車協会(岡伸二郎会長)は、7月23日、新宿区の「ホテルグランドヒル市ヶ谷」において、令和8年度定時総会を開催し、出席者は委任状を含め34名。

総会は、岡会長が欠席のため原山陽一副会长(東京福祉社会会長)が議長となり、第1号議案・令和7年度事業報告の件、第2号議案・令和7年度収支決算報告の件、第3号議案・令和8年度事業計画(案)の件、第4号議案・令和8年度収支予算(案)の件、第5号議案・役員改選(案)の件が審議され、いずれも事

務局案が承認された。役員改選では、原山陽一氏が新会長に、八木孝氏(南多摩運送社長)が新副会长に、星野良太氏(帝都典礼社長)・中村元氏(東礼自動車社長)が新理事にそれぞれ就任された。

総会終了後の懇親会には、東京運輸支局より勝家省司支局長、同川村英輝首席運輸企画専門官にご臨席いただき、華を添えていただいた。(東京都協会事務局 染谷秀人氏)

協会ホームページ内「ぜんれいニュース」閲覧について

これまで協会ホームページの会員専用ページにあった「ぜんれいニュース」が今号より**トップページのバナー**から見られるようになりました。
協会員以外の皆様にも、ぜひおすすめください！

今後の主要会議・行事開催日程

令和8年	
10月15日（木）	全ト協：全国トラック運送事業者大会 （広島：ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ・福山ニューキャッスルホテル）
10月21日（水）	自動車関係功労国土交通大臣表彰式（東京：国土交通省）
11月18日（水）	第33回人材育成中央研修会（愛知：東京第一ホテル錦）
12月7日（月）	第4回運営委員会（東京：全日本トラック総合会館）
12月8日（火）	第2回災害時対策委員会（東京：全日本トラック総合会館）
令和9年	
2月3日（水）	全国事務局担当者業務連絡会議（東京：未定）
2月19日（金）	第5回運営委員会（東京：未定）
3月25日（木）	第3回災害時対策委員会（東京：未定）
3月26日（金）	令和8年度第3回理事会・臨時総会（東京：未定）
6月8日（火）	第50回全国事業者（北海道地区）大会 （北海道：京王プラザホテル札幌）

新規許可事業者(令和8年6月～8月)

地区	事業者名	営業区域	車両
青森市	(有)かわだ葬儀造花店	青森県	1
坂東市	(株)コスモ	茨城県	1
八王子市	(株)伊藤祐次	東京都	1
和歌山市	和歌山県農業協同組合	和歌山県	6

令和8年度版会員名簿の変更

ページ	協会	事業者名	変更箇所	変更前	変更後
2	関東	関東霊柩自動車協会	事務局	平間 健一	赤井 秀好
2	近畿	近畿霊柩自動車協会	会長	松井 信五	川島 弘丈
2	四国	四国霊柩自動車協会	事務局	喜多 恵美	忽那 繁也
			郵便番号	771-2305	790-0877
			住所	徳島県三好市三野町太刀野344	愛媛県松山市錦町2-30 玉井ビル2F
			TEL	0883-77-2345	089-961-4592
			FAX	0883-77-3475	089-947-8120
22	秋田	秋田県霊柩自動車協会	事務局	伊藤 旭	宮崎 知之
			アドレス	akita-truck.ai@ata.or.jp	akita-truck.tm4@ata.or.jp
			会長	山野 豊	河口 昌司
			事務局	星安 博文	小泉 啓子
			郵便番号	630-8133	630-8113
68	奈良	奈良県霊柩自動車協会	住所	奈良県奈良市大安寺1-3-3 奈良近鉄タクシー(株)内	奈良県奈良市法蓮町413 (株)公益社内
			TEL	0742-62-1337	0742-23-2115
			FAX	0742-62-1300	0742-26-3338
			アドレス	hirofumi.hoshiyasu@narakintaxi.co.jp	info@narakoueki.co.jp
			代表者	田中 俊子	田中 克実
104	鹿児島	(有)田中霊柩運送	代表者	田中 俊子	田中 克実

三重県霊柩自動車協会

適正化セミナーを開催

三重県霊柩自動車協会（小川啓会長）は、8月25日、三重県葬祭業協同組合様からの共催、三重県トラック協会様のご協力を頂き、三重県トラック協会会議室にて一般貨物自動車運送事業（霊柩）の適正化セミナーを開催した。

今回のセミナーは、当協会加盟の会員事業者だけでなく、国土交通省・中部運輸局のホームページ内、貨物自動車運送事業営業所と一覽に記載の全営業所（約90社）に開催告知をお送りした所、23社38名の参加があった。セミナーは、①三重県貨物自動車適正化事業部より「適正化巡回指導の役割と目的」、指導員はここをチェックする、②三重運輸支局監査担当より「運輸支局の監査方針と行政処分について」、③三重運輸支局輸送担当より

「改正トラック適正化について」、これら貨物運送事業はこう変わる、④三重県協会会長より「全霊協及び三重県霊柩自動車協会の紹介」、皆様の適正化に對して協会がお手伝いできることといった4点をテーマに3時間30分に及ぶセミナーとなった。

近年、県内霊柩事業者に對しての巡回指導数、運輸支局の監査数が増加していること、トラック適正化二法の先行きが気になることもあつてか、メモを取る、積極的に質問をされる参加者の姿も垣間見られ、予想に反して関心の高さを伺い知ることができた。

さらに、全霊協加盟のメンバーもお伝えし、協会のPRもぬかりなく実施した。セミナー終了後、「まさに暗中模索の状態だったので、セミナーの開催はありがたかった」とのお声を数社からいただき、一定の成果は得られたセミナーとなった。

（三重県協会 事務局）

訃報

實藤 吉信様
（7月29日ご逝去）
旭川県協会・（有）東京花屋
實藤公法氏のご尊父
味村 富美子様
（8月13日ご逝去）
栃木県協会・（有）みむら
代表取締役会長
鈴木 紀代子様
（8月26日ご逝去）
神奈川県協会・（有）佐野商店
鈴木康伸氏のご母堂

編集後記

岡伸二郎前会長のご退任表明に基き、令和8年度第2回理事会（1面参照）が緊急開催され、松井信五氏（京都府霊柩自動車協会会長）が新会長（第10代）に就任されました。これから協会の舵取りを宜しくお願いいたします。

新会長のご就任の挨拶では、協会の継続事項と検討事項が挙げられていました。会員の皆様には様々な意見をお願います。と、新会長の前に全霊協が更に前進することを祈念申し上げます。



(K)

株式会社 ニットク



群馬県高崎市菅谷町20-164

TEL 027-373-8444 FAX 027-373-8109

<http://www.nittoku.info/>

(一社) 全霊協賛助会員

ティ・アル・ジィ

TRG
CUSTOM COACH BUILDER
HEARSE & LIMOUSINE
SINCE 1965 FUKUOKA JAPAN



国産車最高峰の車格が生み出す
ラグジュアリーな佇まい
CENTURY LIMOUSINE HEARS
【245-024】センチュリーリムジン霊柩車

●詳しくは、TRGホームページをご覧ください。

<http://www.trg-net.jp/>

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川1-14-18

TEL.092-587-0236

JFC

www.japan-f-coaches.com

有限会社 ジェイ・エフ・シー

神奈川県厚木市上依知1310-4 TEL 046-244-1600